

政策整理番号	23	施策番号	1	評価シート(B) (施策評価: 施策を構成する事業の評価)				
対象年度	H18	作成部課室	教育庁 生涯学習課	関係部課室				
政策名	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実				政策番号	3 - 7 - 2		
施策番号	1	施策名	多様なニーズに対応した学習機会の提供					
施策概要	県民のだれもが、主体的・自発的に学ぶことができる、多様な学習機会の提供を目指します。							
政策評価指標 / 達成度	みやぎ県民大学受講者数(累計)			A	公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)			B

達成度: A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している)...(現状値が把握できない等のため判定不能)

施策を構成する事業の分析

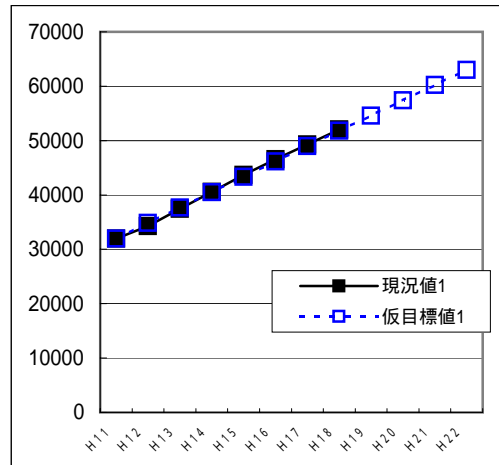
活動(事業) / 活動(事業) によりもたらされた結果					活動(事業) によりもたらされた成果							
事業番号	事業名 【担当課】	事業の対象 (誰・何を対象として)	事業の手段(内容) (何をしたのか)	業績指標名(単位) (事業の活動量、「事業の手段」に対応)	H16	H17	H18	事業の目的(意図) (対象をどういう状態にしたのか)	成果指標名(単位) (事業の成果、「事業の目的」に対応)	H16	H17	H18
					業績指標の値					成果指標の値		
					事業費(決算(見込)額, 千円) 単位当たり事業費(千円)							
1	みやぎ県民大学推進事業 【生涯学習課】	一般県民	大学・高校等の教育機関等と連携しながら、県内各地で各種生涯学習講座を開設する。	みやぎ県民大学講座数(講座)	64	70	66	一般県民が自分のニーズにあった学習講座を身近に受講できるようになった。	みやぎ県民大学受講者数(人)	2,892	2,731	2,759
					10,276	9,681	6,783					
					160.6	138.3	102.8					
2	市町村図書館支援事業 【生涯学習課】	市町村図書館	蔵書検索システム等、図書館支援ネットワークの整備を進めるとともに、市町村図書館職員の研修会も行う。	県図書館から県内市町村図書館に対する年間協力貸出数(冊)	21,856	22,383	(未集計)	蔵書検索が容易になるなど、図書館において利用者が図書資料を借りやすい環境になった。	県内公立図書館における個人の図書資料貸出総数(千冊)	8,643	8,529	(未集計)
					75,095	67,551						
					3.4	3.0						
3												
4												
5												
事業費計(千円)					85,371	77,232	6,783					

政策評価指標分析カード(整理番号1)

政策整理番号 23 施策番号 1

対象年度	H18	作成部課室	教育庁 生涯学習課	関係部課室	
政策名	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実			政策番号	3 - 7 - 2
施策番号	1	施策名	多様なニーズに対応した学習機会の提供		

政策評価指標		単位						
みやぎ県民大学受講者数(累計)		人						
目標値	H17 49,000	H22 63,000						
評価年	初期値	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
測定年	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
現況値	31,992	34,242	37,465	40,576	43,665	46,557	49,288	52,047
仮目標値		34,827	37,662	40,497	43,332	46,167	49,000	51,800
達成度		B	B	A	A	A	A	A



達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

政策評価指標の概要

みやぎ県民大学累計受講者数
 みやぎ県民大学: 専門的な教育機能を有する大学や高等学校, 社会教育施設, 及びNPO等の団体と連携を図りながら, 県民の生活向上や職業上に必要な知識・技能, あるいは一般的な教養に関する学習機会を広域的に提供する。

政策評価指標の選定理由

- ・みやぎ県民大学受講者数の増加は, 生涯学習に慣れ親しむ県民が増えていることを意味することから, 生涯学習環境の充実を示す指標として選定した。
- ・職業上必要な知識や技術, また一般的な教養に関する学習機会の提供への県民ニーズに応える指標として選定した。
- ・学習成果が県民のキャリア開発やボランティア活動など積極的な社会参加に生かされ, 地域づくりにも反映される指標として選定した。

達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

- ・前年度より講座数としては4講座減ったものの, 受講者数は28人増えて, 2,759人となった。
- ・講座開設について, 県政だよりや新聞の県からのお知らせ欄をはじめとし, 市町村広報紙等に掲載依頼したり, 各講座内容を県ホームページ上で案内するなど, 県民への広報についてはこれまで以上に積極的にいった。
- ・団塊の世代をはじめ, これから多くの方が退職していく中において, 生涯学習の必要性, 特に学習機会の提供については今後ますます高まっていくことが予想されることから, 資格取得を目的とする民間企業による学習講座と異なり, 多様な学習講座を広域的に開催する当事業については維持していかなければならない。

政策評価指標の妥当性【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】

- ・広域的に多様な学習講座を提供する本事業の実施状況を表す受講者数は, 県民ニーズに対応した学習機会の提供を測る指標としてふさわしい。
- ・県民大学は, 学習機会の提供だけでなく, 地域における生涯学習振興の要でもある指導者の養成も行っており, このことは市町村においても, 県に支援を期待しているところである。
- ・生涯学習の振興という視点から実施している県事業は本事業だけであることから, 当指標の設定は妥当である。

政策評価指標分析カード(整理番号2)

政策整理番号

23

施策番号

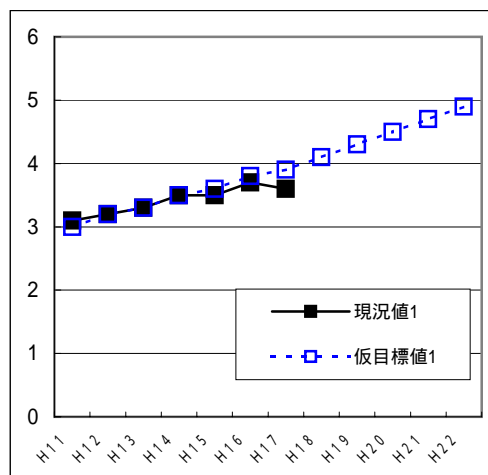
1

対象年度	H18	作成部課室	教育庁 生涯学習課	関係部課室	
------	-----	-------	-----------	-------	--

政策名	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	政策番号	3 - 7 - 2
-----	--------------------	------	-----------

施策番号	1	施策名	多様なニーズに対応した学習機会の提供
------	---	-----	--------------------

政策評価指標		単位						
公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)		冊						
目標値	H17 3.9	H22 4.9						
評価年	初期値	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
測定年	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
現況値	2.9	3.1	3.2	3.3	3.5	3.5	3.7	3.6
仮目標値		3.0	3.2	3.3	3.5	3.6	3.8	3.9
達成度		A	A	A	A	B	B	B



達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

政策評価指標の概要

県民一人当たりの年度毎の公立図書館における図書資料貸出数

政策評価指標の選定理由

- ・県民一人当たりの図書資料貸出数の多寡を指標とすることにより、生涯学習環境の充実度合いを推し量る指標として選定した。(図書資料貸出数が増える要因・・・図書館が増えること。住民の読書活動が活発となることなど。)
- ・県民の生涯学習によるキャリア開発や県民の文化的活動の振興度合いを示す指標として選定した。
- ・当該指標の向上は、ボランティア活動などの地域づくりにも結びつくものとして選定した。

達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

- ・数値測定してから初めて、前年度の数値を下回った(0.1冊)。また、3期連続で目標値には至らなかった。
- ・市町村の合併時期であり、新しい図書館の設置は一つもなかった。また、図書館の新しい市町村での組織的な位置づけが明確となっていなかったことも目標値を達成できなかった要因である。
- ・地方自治体の財政状況が好転しない限り、新図書館設置による目標達成は難しい。しかし、市町村合併が一段落する今後、新しい市町村で組織的整備が進めば、分館としての位置づけで図書館が増えていく可能性は十分にあり、また、図書館ネットワークの進展による相互貸出が活発化すれば、目標値をクリアできる見通しである。

政策評価指標の妥当性[施策の有効性を評価する上で適切な指標か]

- ・公立図書館は、地域における住民の学習ニーズに応える生涯学習の中核的施設として、資料や情報の提供等、住民の学習を支援するものである。
- ・生涯にわたる学習活動を支援し、多様化・高度化する学習ニーズに対応していくには、地域の特性に応じた身近な図書館が必要不可欠である。
- ・以上のことから、公立図書館の利用度を計る本指標は、県民の多様なニーズに対応した学習機会の提供の度合を計る指標の一つとして適切である。

